

調査研究研修事業

(1) 研究事業

ア 教育研究発表会

期 日	内 容	備 考
8月5日(金) 深沢学習センター ホール	○ 研究発表(本発表3、中間発表1) 講義「『なぜ、教育実践研究を行うのか?』の問いに 答えるために ―教育実践研究の意義と課題―」 横浜国立大学 教育学部 教授 加藤 圭司 氏	44名 (小27中14園3) 各校1名

イ 幼児教育

○ 幼児教育研究協議会

期 日	内 容 / 実践報告、協議	備 考
1月25日(水) 鎌倉生涯学習 センター	研究テーマに関する実践報告及び研究協議(幼・こ・保・小連携) テーマ:「育ち、つなぎ、分かち合う～いきいきと活動し学ぶ姿の共有～」 実践報告 幼1・保1・小1	82名 (小29園53)

○ 幼・こ・保・小交流事業担当者会

期 日	場 所	内 容	備 考
5月25日(水)	玉縄学習センター	今年度の幼・こ・保・小交流事業について	43名 (幼4こ5保18小16)

ウ 調査研究会

○ 調査研究年次計画

調査研究会	R2 年度 (2020 年度)	R3 年度 (2021 年度)	R4 年度 (2022 年度)	R5 年度 (2023 年度)	研究内容
鎌倉郷土研究会			←→	→	鎌倉の地域素材の収集整理及びそれらを活用した教育実践
教育課題研究会	←→	→	←→	→	「かまくらっ子の意識と実態調査」第12集の発行
情報教育研究会	←→	→	←→	→	ICT の活用における情報モラル教育の研究
幼児教育研究会	→	←→	←→	←→	幼・こ・保・小の連携

※ ←→ (太線) については令和4年度研究

○ 教育研究員 ※(4)についてはR3から継続 (1)(2)(3)についてはR4新規

調査研究会	研 究 テ ー マ (内容要旨)
(1) 鎌倉郷土研究会 (1/2)	鎌倉の地域素材の収集整理及びそれらを活用した教育実践
(教育研究員 小学校3名 中学校2名 計5名) 服部 かれん(御成小) 菊地 圭太(七里ガ浜小) 加藤 美由貴(富士塚小) 吉岡 遼平(深沢中) 宮澤 裕太(腰越中) 【指導助言者】 株式会社 面白法人カヤック 広報部部長 梶 陽子 氏	
(2) 教育課題研究会 (1/2)	「かまくらっ子の意識と実態調査」第12集の発行
(教育研究員 小学校3名 中学校1名 計4名) 鈴木 章敏(玉縄小) 水本 沙織(深沢小) 中嶋 彩子(腰越小) 熊坂 健仁(大船中) 【指導助言者】 青山学院大学コミュニティ人間科学部 学部特任教授 耳塚 寛明 氏	
(3) 情報教育研究会 (1/2)	ICTの活用における情報モラル教育の研究
(教育研究員 小学校2名 中学校3名 計5名) 斎藤 誠和(今泉小) 酒井 峻介(山崎小) 眞島 亜紀子(第二中) 松本 咲子(手広中) 岡部 匠(岩瀬中) 【指導助言者】 柏市教育委員会 教育研究専門アドバイザー 西田 光昭 氏	
(4) 幼児教育研究会 (2/2)	「遊びから学びへ～幼・こ・保・小の学びの連続性を探る～」 小一プロブレム解消に向けて、園での経験を小学校の学習へどう 接続していくのか円滑な接続に向けての手立てを探る。
(教育研究員 小学校2名 公立保育園1名 私立保育園1名 認定こども園1名 計5名) 大橋 真音(第一小) 岡田 ゆい(西鎌倉小) 佐野 肖美(アワーキッズ鎌倉) 樋口 一恵(清心保育園) 吉崎 晴美(大船保育園) 【指導助言者】 鎌倉女子大学短期大学部 学部長 小泉 裕子 氏	

* 各研究会の検証授業のうち何回かを公開授業と位置づけ参加希望をとる。研究授業後、研究協議を行う。

(2) 研修事業

ア 実践的な指導力向上のための研修

【市教育センター企画研修会】

研修会名等	回	期日・会場	テーマ・講師予定等	備考
危機管理対応能力 育成研修会	1	7月21日(木) PM 大船中学校	「災害発生時の教職員の対応のあり方と防災教育」 慶應義塾大学 環境情報学部 准教授 大木 聖子 氏	31名 (小20中11) 各校1名
食育研修会	1	7月25日(月) AM 大平農園	「鎌倉の有機農業体験から学ぶ」 大平農園 大平 篤治 氏	20名 (小14中5他1)
人権教育研修会	1	7月29日(金) PM 鎌倉生涯学習センター	「ヤングケアラーという視点を持った支援」 神奈川県教育委員会教育局支援部子ども教育支援課 スクールソーシャルワーカースーパーバイザー 宮崎 全代 氏	32名 (小21中9他1) 各校1名
情報教育研修会 *コンピュータ研修会 より名称変更	1	7月27日(水) PM 大船小学校	「iPadを活用した授業づくり ～すぐに使いたくなるアイデア集～」 鎌倉市立大船小学校 教頭 坂本 卓 氏	23名 (小22他1)
	2	8月8日(月) AM 御成小学校	「iPadを活用した授業づくり ～子どもたちの未来のためにできることを考える～」 さとえ学園 山中 昭岳 氏 株式会社 エデュテクノロジー 阪上 吉宏 氏	43名 (小29中14) 管理職(教頭) ICT教育推進担当者
	3	1月13日(金) PM 御成小学校	「iPadを活用した授業づくり ～子どもたちの未来のためにできることを考える～」 さとえ学園 山中 昭岳 氏 株式会社 エデュテクノロジー 阪上 吉宏 氏	47名 (小31中16) 管理職(教頭) ICT教育推進担当者
鎌倉郷土研究 研修会	1	7月21日(木)AM 国宝館・歴史文化交流館	鎌倉国宝館職員(教育文化財部) 鎌倉歴史文化交流館職員(教育文化財部)	9名 (小8他1)
	2	7月22日(金) PM 鎌倉彫会館	「鎌倉彫資料館見学及び体験」 鎌倉彫協同組合 理事 鎌倉彫資料館 館長 赤井 裕明 氏	7名 (小4他3)
	3	8月1日(月) AM 鎌倉市内	「頼朝挙兵から10年でめざしたもの ～鎌倉殿の三大寺院(跡)を訪ねる～」 鎌倉ガイド協会 大橋 正一郎 氏・丹澤 芳明 氏	25名 (小24他1)
教師力向上研修会	1	7月27日(水) AM 鎌倉生涯学習センター	「過ごしやすい職場環境を作るコミュニケーション能力」 (株) リファイン代表取締役社長 下平 久美子 氏	21名 (小16中2他3)
	2	7月28日(水) PM 鎌倉生涯学習センター	「SDGsを学ぶ SDGsに学ぶ SDGsと学ぶ」 横浜市立小机小学校 校長 鈴木 康史 氏	7名 (小4他3)
	3	8月25日(木) PM 深沢小学校	「授業づくりと学級経営 ～日頃の気になる課題の解決に向けて～」 湘南三浦教育事務所教育指導員・鎌倉市教育指導員	14名 (小11中3)
幼・こ・保・小 連携研修会	1	6月15日(水) PM 稲村ヶ崎小学校	「豊かな感性を育む～生きる喜び・遊ぶ喜び・学ぶ喜び～」 (授業や生活の様子を撮った動画を参観し、協議と情報交換)	43名 (幼6こ1保14小17他5) 小各校1名
	2	10月12日(水) 腰越保育園	「豊かな感性を育む～生きる喜び・遊ぶ喜び・学ぶ喜び～」 (保育参観と情報交換)	33名 (幼3こ1保10小14他5) 小各校1名

幼児教育研修会	1	8月22日（月）PM オンライン開催	「学びの連続性を支える保育者と教師の協働」 鎌倉女子大学短期大学部学部長 小泉 裕子 氏	34名 (幼9こ4小20他1) 小各校1名
事故・不祥事防止 研修会	1	8月9日（火）AM 深沢学習センター	「1人1台 ICT 端末を活用した教育活動の充実のために ～著作権・肖像権への対応を中心に～」 柏市教育委員会 教育研究専門アドバイザー 西田 光昭 氏	32名 (小23中9) 各校1名
教育課題研修会	1	7月29日（金）PM オンライン開催	「インクルーシブ教育の考え方と教員にできること」 聖学院大学 心理福祉学部 教授 大橋 良枝 氏	37名 (小24中8他5) 各校1名
	2	8月22日（月）PM 深沢学習センター	「いじめからいのちを守る ～基本的自尊感情の大切さ～」 日本ウェルネススポーツ専門学校 教授 近藤 卓 氏	14名 (小9中2他4)
音楽科教育 授業づくり研修会 (鎌教研音楽部会共催)	1	7月28日（木）AM 御成小学校	「子どもがときめく音楽授業づくり ～明日の授業に生かせる鑑賞・音楽づくり～」 筑波大学附属小学校 高倉 弘光 氏	36名 (小36) 小音楽部部員 希望者

* 全研修会参加対象：市立小・中学校教職員・市内幼稚園教諭・認定こども園保育教諭・保育園保育士・子ども
もの家指導員等希望者

* 各校1名以上参加の悉皆研修については備考欄に記載

【学校支援研修会】

※各校1回実施

研修会名等	回	期日・会場	テーマ・講師等	備考
危機管理 対応能力育成 研修会	1	6月8日（水）PM 腰越中学校	「防災研修 ～震災を想定した演習と講義～」 鎌倉市総合防災課 鎌倉いわて設備	19名 (小1中18)
授業づくり 研修会	1	5月23日（月）PM 小坂小学校	「『主体的に学習に向かう態度』の評価について」 山梨大学大学院総合研究部教育学域教育学系（教育実践創成講座） 准教授 茅野 政徳 氏	27名 (小27)
	2	6月23日（木）PM 稲村ヶ崎小学校	「新学習指導要領を踏まえた国語の授業づくりについて」 山梨大学大学院総合研究部教育学域教育学系（教育実践創成講座） 准教授 茅野 政徳 氏	27名 (小25中2)
	3	6月30日（木）PM 今泉小学校	「児童が自ら課題を見つける授業づくりについて」 早稲田大学教育・総合科学学術院 教授 小林 宏己 氏	24名 (小24)
	4	9月9日（金）PM 七里ガ浜小学校	「子どもの目を輝かせる授業づくりのヒント」 元 鎌倉市立小学校校長 宮澤 憲雄 氏	18名 (小17中1)
	5	10月27日（木）PM 深沢小学校	「子どものみえ方から構想する授業づくり ～指導と評価が一体化する授業づくり～」 山梨大学大学院総合研究部教育学域教育学系（教育実践創成講座） 准教授 茅野 政徳 氏	19名 (小1中18)
教育課程 研修会	1	8月26日（金）PM 御成中学校	「『主体的に学習に取り組む態度』をどのようにとらえるか」 早稲田大学教育・総合科学学術院 教授 小林 宏己 氏	66名 (小39中27)

	2	9月20日(火) PM 第一中学校	「学習指導要領に求められる評価・評定のありかた」 横浜国立大学 名誉教授 高木 展郎 氏	19名 (小1中18)
	3	9月26日(月) PM 御成小学校	『話を聴き、深く考え表現する』授業づくり ～相手意識・目的意識をもって～ 早稲田大学教育・総合科学学術院 教授 小林 宏己 氏	25名 (小25)
	4	10月6日(木) 手広中学校	「学び合い、高め合う人間関係を基盤とした確かな学力の育成」 横浜国立大学附属鎌倉小中学校長 青木 弘 氏	17名 (中17)
	5	10月26日(水) PM 岩瀬中学校	「『思考力・判断力・表現力等』と『主体的に取り組む態度』 の一体的な指導・評価について」 横浜国立大学 教授 池田 敏和 氏	19名 (小1中18)
	6	1月18日(水) PM 大船中学校	「単元別評価の総括について」 横浜国立大学 名誉教授 高木 展郎 氏	29名 (小0中29)
児童生徒理解 研修会	1	5月27日(金) PM 植木小学校	「みんなが学びやすい学校づくりを目指して ～多様性を認め合う関係づくり～」 明星大学 教育学部 教授 星山 麻木 氏	20名 (小19他1)
	2	11月2日(水) PM 第二中学校	「精神的な苦しさを抱える生徒への支援 ～つらさの根底にあるものは～」 オフィスいわむろ代表 岩室 紳也 氏	19名 (小3中16)
	3	1月31日(火) PM 第二小学校	「発達多様性の理解と支援 ～自分理解からはじめよう～」 明星大学 教育学部 教授 星山 麻木 氏	21名 (小21中0)
	4	3月9日(木) PM 玉縄中学校	「学校での気づきを支援につなげるために」 神奈川県教育委員会教育局支援部子ども教育支援課 スクールソーシャルワーカースーパーバイザー 宮崎 全代 氏	26名 (小1中25)
教科等 研修会	1	4月22日(金) PM 大船小学校	「生活科・総合的な学習の時間の授業展開と指導力向上」 横浜創英大学 教授 大内 美智子 氏	29名 (小29)
	2	5月18日(水) PM 関谷小学校	「『考え、議論する道徳』への質的転換に向けた授業改善について」 神奈川県教育委員会教育局支援部子ども教育支援課 小・中学校生徒指導グループ 指導主事 安齋 友貴 氏	16名 (小16)
	3	5月27日(金) PM 深沢中学校	「ICTを活用した授業・学習活動-ポスト・GIGAの授業デザイン-」 株式会社 情報通信総合研究所 ICTリサーチ・コンサルティング部 特別研究員 合同会社未来教育デザイン 代表社員 平井 聡一郎 氏	38名 (小2中29他7)
	4	6月1日(水) PM 西鎌倉小学校	「伝えあい深めあう子どもを目指して ～自分事としてとらえる国語科の授業づくり」 早稲田大学教育・総合科学学術院 教授 小林 宏己 氏	34名 (小34)
	5	6月13日(月) PM 富士塚小学校	「共に生かし合い、いきいきと学び合う体育授業について」 横浜国立大学 教育学部 教授 梅沢 秋久 氏	21名 (小21)
	6	6月21日(火) PM 山崎小学校	「深い学びのある授業を目指して」 大妻女子大学 家政学部 教授 澤井 陽介 氏	23名 (小23)
	7	6月27日(月) PM 玉縄小学校	「『みんなで学ぶ』ということ学ぶ ～算数科に焦点を当てて～」 横浜国立大学 教育学部 教授 池田 敏和 氏	30名 (小28中2)

	8	7月25日（月）PM 腰越小学校	「ICTを活用した授業・学習活動について」 さとえ学園小学校 山中 昭岳 氏	17名 (小17)
	9	3月9日（木）PM 第一小学校	「発達に特性を持つ児童について ～医療の立場から～」 湘南鎌倉総合病院 公認心理士 臨床心理士係長 松本 準 氏	19名 (小32中2)

*全研修会参加対象：市立小・中学校教職員・市内幼稚園教諭・認定こども園保育教諭・保育園保育士・子どもの家指導員等希望者

【GIGA スクール校内研修会】 3年計画の3年目

	学校名	期日	テーマ等	備考
1	小坂小学校	5月19日（木）	SKY Menu クラウドの使い方 外部講師（Sky 株式会社）	28名
2	岩瀬中学校	5月31日（火）	SKY Menu クラウドの使い方 外部講師（Sky 株式会社）	26名
3	手広中学校	6月14日（火）	SKY Menu クラウドの使い方 外部講師（Sky 株式会社）	8名
4	深沢小学校	6月16日（木）	JamBoard の授業での活用	27名
5	七里ガ浜小学校	6月30日（木）	SKY Menu クラウドの使い方 外部講師（Sky 株式会社）	20名
6	大船小学校	8月30日（火）	SKY Menu クラウドの使い方 外部講師（Sky 株式会社）	26名
7	深沢中学校	8月30日（火）	AI ドリル「すらら」の使い方 外部講師（株式会社すららネット）	24名
8	第一小学校	9月2日（金）	SKY Menu クラウドの使い方 外部講師（Sky 株式会社）	28名
9	大船中学校	10月20日（木）	Classroomの活用方法 外部講師（北鎌倉女子学園中学校高等学校）	27名
10	稲村ヶ崎小学校	11月17日（木）	SKY Menu クラウドの使い方 外部講師（Sky 株式会社）	14名
11	御成小学校	11月29日（火）	SKY Menu クラウドの使い方 外部講師（Sky 株式会社）	28名
12	今泉小学校	12月22日（木）	JamBoard の授業での活用	25名
13	玉縄中学校	12月22日（木）	AI ドリル「すらら」の使い方 外部講師（株式会社すららネット）	24名
14	第二中学校	12月23日（金）	ICT（Google WorkspaceやiPad）の校務への活用 外部講師（北鎌倉女子学園中学校高等学校）	15名
15	関谷小学校	1月6日（金）	GIGA ワークブックの活用について	12名
16	御成中学校	1月6日（金）	GIGA ワークブックの活用について	24名
17	山崎小学校	1月10日（火）	授業で活用できる効果的な学習アプリ	18名
18	第二小学校	1月12日（木）	iPad や ICT 機器を使用した授業での実践について	18名
19	植木小学校	1月16日（月）	プログラミング教育について	19名
20	第一中学校	1月18日（水）	Classroomをつかった確認テストの実施 外部講師（北鎌倉女子学園中学校高等学校）	14名
21	富士塚小学校	1月30日（月）	体育の授業での ICT 機器の実践について	15名
22	腰越小学校	1月25日（水）	AI ドリル「すらら」の使い方	21名
23	玉縄小学校	2月27日（月）	「GIGA ワークブックかまくら」を活用した情報モラル教育の実践	19名
24	西鎌倉小学校	オンデマンド	Google フォームの効果的な使用法	29名
25	腰越中学校	2月14日（月）	校支援の活用について	17名

*参加対象：原則実施校の教職員

イ 基本研修

研修名等	回	期日・会場	テーマ・講師等	備考
初任者研修	1	4月8日(金)PM 鎌倉生涯学習センター ホール	教育長講話・オリエンテーション・教職基礎研修等 鎌倉市教育委員会教育長 他	初任者研修対象者 13名（小5 中8） 初任者研修対象外 2名（小2）
	2・3	8月18日(木) 8月19日(金) 県立足柄ふれあいの村	宿泊研修 五感教育研究所 室長 高橋 良寿 氏 教育センター指導主事他	初任者研修対象者 13名（小6 中7）
	4	2月7日(火)PM 鎌倉生涯学習センター	教育長講話・SDGsと学校教育について ・研修の総括 等 教育長、教育センター指導主事他	初任者研修対象者 14名（小6 中8）
	年度内		研究授業（指導主事が参観）、校内授業研究会、他校訪問を各学校で実施	初任者研修対象者 14名（小6 中8）
1年経験者研修	1	1月31日(火)PM 鎌倉生涯学習センター	事故・不祥事防止研修 インクルーシブ教育に関する研修協議会	1年経験者 研修対象者 20名（小11 中9）
	2	年度内	研究授業（指導主事が参観）の実施	
	3	年度内	指定された研修会から1講座受講	
2年経験者研修	1・2	年度内	鎌倉市教育センター主催の「学校支援研修会」から2講座選択して受講	2年経験者 研修対象者 8名（小6 中2）
拠点校指導教員 連絡会	1	4月19日（火）PM 鎌倉生涯学習センター	職務について 初任者研修の研修内容・研修の進め方について	拠点校指導教員
	2	7月12日（火）PM 深沢中学校	初任者についての情報交換	
	3	11月29日（火）PM 今泉小学校		
	4	2月14日（火）PM 玉縄中学校		

ウ 教育指導員の派遣

教育指導員を派遣し、学級経営や授業づくり等について、スキルアップを目指す教職員のサポートを行う。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
25	25	26	27	12	26	26	25	26	25	25	26	294回	
	48	45	44	18	41	43	44	45	40	45	46	459名	

2 教育情報事業

(1) 教育資料の刊行

刊 行 冊 子 名	発 行	配 付 対 象
所報「かまくら教育」	年2回（7、1月）	市内幼こ保小中学校教職員、関係機関
教育センターだより	年3回（11、1、3月）	市内幼こ保小中学校教職員、庁内関係課 ＊「教育センターサイト」で公開
児童生徒の自立支援のために「アクションプラン」	不定期	市立小中学校教職員 ＊「教育センターサイト」で公開
不登校の予防と対応ハンドブック	平成27年2月	市立小中学校教職員
小学校社会科学習資料「かまくら」	令和5年3月	市内在住小学校3年生全員他
中学校社会科学習資料「私たちの鎌倉」	令和4年度よりデジタル版として配付済み	市内在住小中学校児童生徒 ＊「かまくら資料館」で公開
中学校理科学習資料「鎌倉の自然」		
各研究会報告冊子	研究会2年目の3月	市内小中学校教職員、関係機関 ＊「教育センターサイト」で公開
「幼児教育」（幼児教育事業報告）	年1回	市内幼こ保小、関係機関 市内小中学校教職員 ＊「教育センターサイト」で公開
かまくら子ども風土記(第14版)	平成31年3月	市民他（有償頒布）
鎌倉教育史、続鎌倉教育史	昭和49年3月、平成4年3月	＊販売終了

(2) 学習資料改訂スケジュール

学習資料名	3年度 (2021年度)	4年度 (2022年度)	5年度 (2022年度)	備 考
小学校社会科学習資料 「かまくら」（第20版）	研究会で 改訂作業	改訂作業	小3冊子配付 小中デジタル版配付	中学校向けの学習資料については、デジタル版を市内小中学校児童生徒へ配付済み。 小学校社会科学習資料については、令和5年度の小学校新3年生児童向けには冊子を配付し、その他の市内小中学校児童生徒にはデジタル版を配付する。
中学校社会科学習資料 「私たちの鎌倉」（第32版）	改訂作業	(デジタル版)	—	
中学校理科学習資料 「鎌倉の自然」（第18版）	—	(デジタル版)	改訂作業	

(3) 教育情報の提供・収集

ア 教育情報の提供

① 鎌倉市役所ホームページ

- ・ 教育相談／教育に関する研究・研修／教材・資料

<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kyouiku/kyouiku/index.html>

② 「教育センターサイト」（鎌倉市小中学校教職員向け教育情報サイト）の運営

- ・ ICT活用に関する資料の収集と紹介
- ・ 研修会の動画・資料の提供

③ 「かまくら資料館」（鎌倉市小中学校教職員及び児童生徒向けサイト）の運営

- ・ デジタル化した学習資料の提供

④ 学校教育活用資料の提供、貸し出し

⑤ 郷土・鎌倉に関する質問への対応並びに各種情報提供

⑥ 校外学習活用資料の提供

イ 教育資料の収集

「鎌倉教育史第三巻＜平成編＞」刊行準備委員会の開催（年3回）

3 渉外等

（１）他機関との連携（県教育研究所連盟関係）

行 事 名	期 日	場 所	内 容	備考
県教育研究所連盟総会	令和４年５月１７日（火）	県立総合教育センター	事業計画、各研究所からの報告	所長参加
県教育研究所連盟指導主事研修講座	令和４年７月５日（火）	県立総合教育センター	講演・研究協議	指導主事参加
県教育研究所連盟教育研究発表大会	令和４年１１月１日（火）	県立総合教育センター	研究発表講演	指導主事 研究員参加
県教育研究所連盟調査研究部会	令和４年８月２３日（火）	海老名市教育支援課	実践報告講演	指導主事参加
県教育研究所連盟教育相談・支援教育部会	令和５年１月２５日（水）	川崎市総合教育センター	実践報告講演	不参加
県教育研究所連盟教育課題部会	令和５年２月２日（木）	座間市教育研究所	研究報告講演	指導主事参加

（２）教育センター運営協議会

書面会議により実施

（３）市庁舎見学や市役所への職場訪問に関する調整

教育センターが窓口となり、日程等の調整を実施

	小学校	中学校
市庁舎見学	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、見学や訪問の受け入れを中止	
職場訪問		新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、見学や訪問の受け入れを中止
総合的な学習の時間での 関係課へ取材等	０校	２校

史跡指定地の公有地化を進めるにあたっての基本方針

鎌倉市教育委員会 教育文化財部 文化財課

史跡指定地の買収による公有地化にあたっては、下記に基づき、予算の範囲内で進めていくものとする。

1 対象とする史跡

- (1) 国指定史跡
- (2) 神奈川県指定史跡
- (3) 鎌倉市指定史跡

※補助金等の活用を勘案し、優先順位は(1)～(3)の正順とする。

2 公有地化の決定に係る考え方

(1) 所有者の希望

所有者からの要望を前提として買収を進める。

(2) 対象地の状況に応じた優先順位

対象となる土地の状況に応じ、以下に掲げる項目順に優先順位を決定する。

ア 史跡の保護を優先的に図るべき土地

(ア) 他法令等による規制がなく、史跡の本質的価値に影響を及ぼす具体的な開発計画等がある土地

(イ) 他法令等による規制がなく、将来的に史跡の本質的価値に影響を及ぼす開発等の可能性がある土地

a 市街化区域にある土地

b 市街化調整区域にある土地

イ 史跡の公開活用のために必要な土地

(ア) 整備計画があり、公開活用を進めていくにあたって公有地化が不可欠な土地

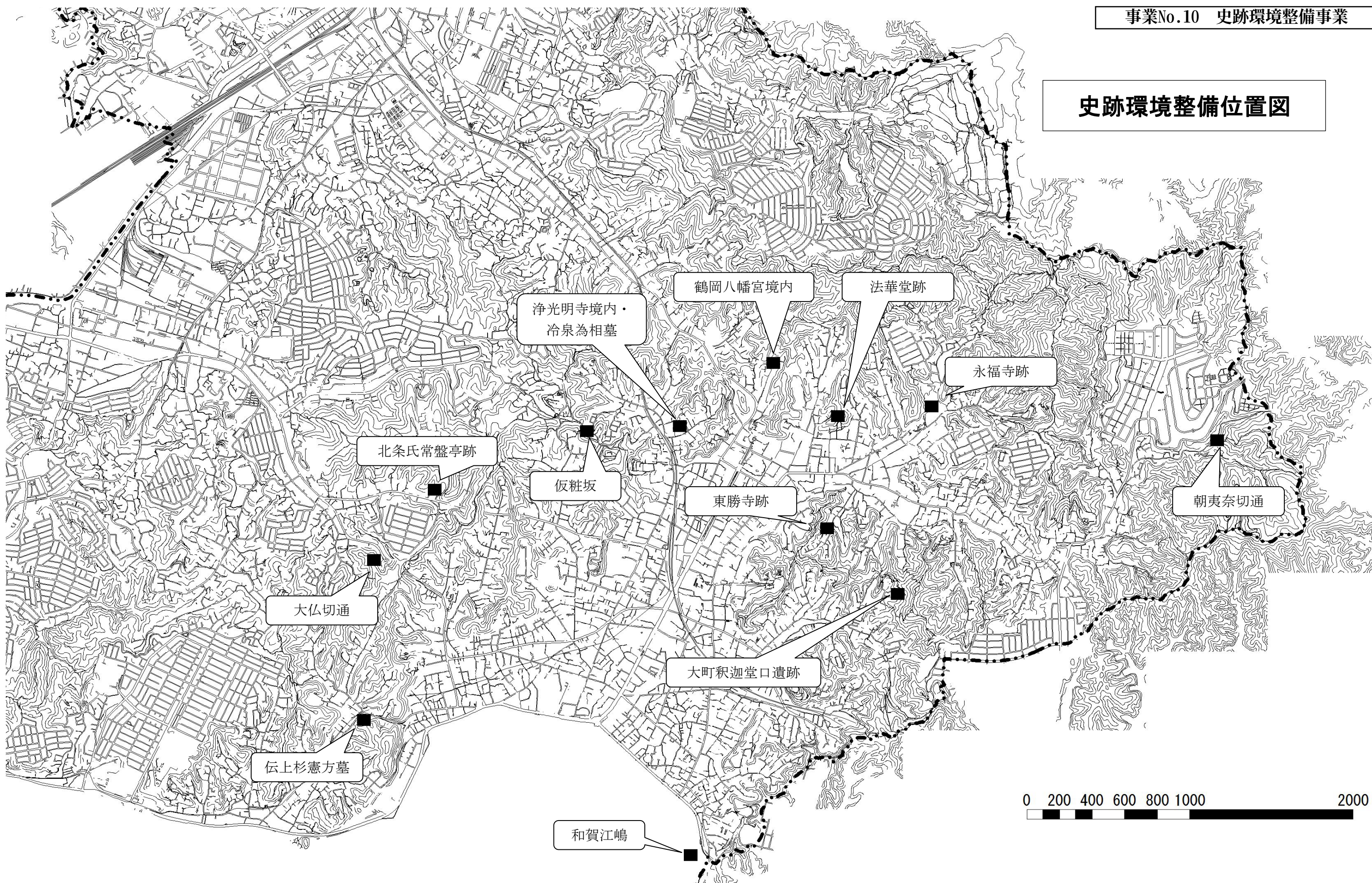
(イ) 暫定的な史跡の公開活用にあたって公有地化が必要な土地

3 公有地化計画の策定

本方針に基づき、具体的な公有地化計画を教育文化財部長決裁により、毎年度策定することとする。

平成29年4月28日 教育長決裁

史跡環境整備位置図



令和 4 年度（2022 年度）の重点事業とその成果

鎌倉市図書館では、「鎌倉市図書館サービス計画」に基づき、毎年重点事業を定め取り組んでいます。
令和 4 年度（2022 年度）の重点事業とその成果は以下のとおりです。

【新規事業】

1 第 4 次鎌倉市図書館サービス計画、および、第 4 次鎌倉市子ども読書推進活動計画を策定します。

＊サービス計画 方針Ⅲ 100 年図書館

【成果】

- ・2023 年（令和 5 年）3 月に両計画を策定しました。

(1) 資料管理基準を改定します。

＊サービス計画 方針Ⅰ つながる図書館－3 資料・情報の提供

【結果】

- ・「第 4 次鎌倉市図書館サービス計画」の策定に合わせての作業でしたが、計画の策定が 3 月までずれこんだため、年度内に改定することができませんでした。引き続き改定に向けて検討していきます。

(2) 利用者アンケートを実施し、コロナ禍で変化した利用者ニーズを把握します。

＊サービス計画 方針Ⅱ つながる図書館－2 市民とともに－（2）市民の声を生かす仕組み

【成果】

- ・「第 4 次鎌倉市図書館サービス計画」の策定にあたり、来館者および市民アンケートを実施しました。鎌倉市図書館の運営やサービス状況、今後予定されている新しい図書館及び電子書籍等へのニーズを把握し、計画の策定に活かしました。
- ・同計画及び「第 4 次鎌倉市子ども読書活動推進計画」の策定にあたりパブリックコメントを実施し、計画に反映させました。

2 写真集発行や展示会を開催し、近代史資料室の研究成果を市民に還元します。

＊サービス計画 方針Ⅲ 100 年図書館－1 鎌倉らしいコンテンツの製作と発信
－（4）近代史資料担当

【成果】

- ・2023 年（令和 5 年）2 月に写真展「古都鎌倉へのまなざし」を開催しました。来場者は 5 日間で 1,542 名でした。
- ・2023 年（令和 5 年）3 月に写真記録集『古都鎌倉へのまなざし』を 3,000 部制作し、発行しました（税込み価格 3,000 円）。

【継続事業】

1 図書館からの情報発信の強化に努めます。

(1) SNS を活用した情報発信をさらに進めます。

＊サービス計画 方針Ⅱ ひろがる図書館－1 図書館からの情報発信－(1) 広報活動の充実

【成果】

- ・Twitter での情報発信（随時）のほか、おはなしかい等行事の LINE への掲載や、Note への投稿（11 回）を行いました。

2 職員の育成とスキルアップ

(1) 次代を担う職員の育成とスキルアップを進めます。

＊サービス計画 方針Ⅲ 100 年図書館－4 市民の活動を支える職員の育成

【成果】

- ・児童奉仕担当向け研修、障害者サービス担当向け研修、職員課主催の職員研修、文部科学省の専門研修など、様々な研修に参加し図書館員としての知識や技術の向上に努めました
- ・昨年度に引き続き神奈川県図書館協会の研修委員会委員長館として、神奈川県図書館協会加盟館対象の研修に主体的に関わりました。

平和都市宣言

われわれは、
日本国憲法を貫く平和精神に基いて、
核兵器の禁止と世界恒久平和の確立のために、
全世界の人々と相協力してその実現を期する。
多くの歴史的遺跡と文化的遺産を持つ鎌倉市は、
ここに永久に平和都市であることを宣言する。

昭和 3 3 年 8 月 1 0 日 鎌倉市

鎌倉市民憲章

制定 昭和 4 8 年 1 1 月 3 日

前 文

鎌倉は、海と山の美しい自然環境とゆたかな歴史的遺産をもつ古都であり、わたくしたち市民のふるさとです。すでに平和都市であることを宣言したわたくしたちは、平和を信条とし、世界の国々との友好に努めるとともに、わたくしたちの鎌倉がその風格を保ち、さらに高度の文化都市として発展することを願い、ここに市民憲章を定めます。

本 文

- 1 わたくしたちは、お互いの友愛と連帯意識を深め、すすんで市政に参加し、住民自治を確立します。
- 1 わたくしたちは、健康でゆたかな市民生活をより向上させるため、教育・文化・福祉の充実に努めます。
- 1 わたくしたちは、鎌倉の歴史的遺産と自然及び生活環境を破壊から守り、責任をもってこれを後世に伝えます。
- 1 わたくしたちは、各地域それぞれの特性を生かし、調和と活力のあるまちづくりに努めます。
- 1 わたくしたちは、鎌倉が世界の鎌倉であることを誇りとし、訪れる人々に良識と善意をもって接します。

鎌倉市教育委員会 教育文化財部 教育総務課

〒248-8686 鎌倉市御成町 18 番 10 号

TEL 0467-23-3000 内線 2454 FAX 0467-24-5569

MAIL kyouiku@city.kamakura.kanagawa.jp